

モットー「楽しき中にも規律あり」 トップより先に歩かない。間隔を開けない。アンカーより後にならない。

2012年3月2日

健脚組 各 位

兵庫歩こう会

第185回例会「山科から牛尾観音・音羽山を経て石山へ」ご案内

桜に代わり新緑が映える、歩くのに最も良い季節になりました。新年度の最初の4月例会は、京都山科から牛尾観音、音羽山を経て、石山までの東海道自然道を歩きます。

記

集合日時：2012年 4月12日(木) 9時00分 受付開始：8時40分

集合場所：JR 東海道線「山科」駅 改札口

雨天対応：気象庁のホームページ (URL：<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>) またはNTTの天気予報(075+177)で、京都府南部の例会前日17時発表、翌日06-12時、12-18時の降水確率のいずれかが50%以上のときは中止とします。

コース：JR山科駅(65m)～経岩(195m)～牛尾観音(370m)～音羽山 593m)～パノラマ台(530m)～幻住庵(170m)～京阪石山寺(90m)

距離：14.2km、時間：6h35min、標高差：530m 難易度：★★★★

服装：長袖シャツ、長ズボン、手袋、帽子、登山靴(ハイカット)、

持参物：弁当、飲料水、敷物、タオル、雨具、スパッツ、ステッキ

昼食は少し遅くなりますので、**間食**の準備をお願いします。

費用：参加費500円

保険：当クラブで発生した事故については会として一切責任は負えません。各自の責任のもとに対応をお考えください。万一のことを考えまして団体傷害保険には加入しています。

電車案内：JR 東海道線

	大阪	京都	山科
東海道・山陽本線新快速(草津行)	8:05	8:37	8:42
東海道・山陽本線新快速(野洲行)	8:15	8:45	8:50

このコースの魅力

●牛尾観音

正式には牛王山法巖と称する古刹。現在の本堂は元禄2年(1689)の再建で、本尊十一面千手観音像および不動明王・毘沙門天像を安置しています。堂前の天狗杉や本堂裏の金生水も広く知られています。

●音羽山

京都と滋賀の府県境に位置し、北は逢坂山、南は醍醐山に連なる高さ593.4mの峰で、都に近いこともあって古くから歌に詠まれてきました。琵琶湖、比良山、比叡山の眺望がすばらしい。

●幻住庵

「奥の細道」の旅を終えた翌年の元禄3年(1690年)3月頃から、膳所の義仲寺無名庵に滞在していた松尾芭蕉が、門人の菅沼曲水の奨めで同年4月6日から7月23日の約4ヶ月間隠棲した小庵。

●瀬田の唐橋

日本三名橋の一つで近江八景「瀬田の夕照」で名高い名橋。古くは、瀬田橋・瀬田の長橋とも呼ばれ、日本書紀にも登場する。現在の状態は、織田信長により現在の状況(大橋・小橋)に整備された。

「唐橋を制するものは天下を制す」とまでいわれるほど、京都へ通じる軍事・交通の要衝であることから幾度となく戦乱の舞台となった。現在の橋は昭和54年に架け替えられたが、緩やかな反りや旧橋の擬宝珠など往時の姿をとどめている。

[問合せ先] 久保、吉川